

発掘ニュース

平成18年3月

4月5日更新

稲荷山古墳

石薬師町

墳丘および主体部が削平されることから、急遽本調査ということになりました。一辺9.5mの方墳で、主体部は木棺直葬で、1.67m×4.27mの墓壇に木製の棺が収められていたようです。副葬品は最初に見つかった須恵器のみでした。周溝は一部を検出した上で、埋め戻しました。



調査区全景



主体部

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成18年2月

3月5日更新

寺山遺跡(第7次)

高岡町字寺山

老人福祉施設の拡張に伴う発掘調査です。調査は建物基礎によって遺構が影響を受ける範囲の約180㎡について行ないました。検出遺構は弥生時代の竪穴住居、古墳時代の土坑（どこう：穴）、奈良時代の掘立柱建物3棟でした。掘立柱建物は2棟が東西方向に並び、その西側にもう1棟が直交するように建てられています。このようなL字状に配置された建物群は木田町の木田坂上遺跡でも見つかっています。



発掘作業風景



調査区全景

稲荷山古墳

石薬師町

個人の住宅の裏庭にある塚状の高まりです。古墳であるかどうかの確認のためトレンチ調査を行ないました。主体部とみられる落ち込みの埋土から7世紀代の須恵器（すえき）の平瓶（へいへい・ひらか）・坏蓋（つきぶた）が出土して古墳であることが確認されました。今後の取扱いについては協議中です。



発掘作業風景



須恵器が出土

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成18年1月

平成18年2月1日更新

伊勢国分寺跡(第31次)

国分町字堂跡

1月15日(日)に現地説明会を開催しました。この冬には珍しく暖かで穏やかな天気だったこともあり、68名の方に参加していただきました。説明後のQ&Aの時間には、私たちがたじたじとなるような専門的な質問が次々出されるなど、なかなか熱い現地説明会となりました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル)からどうぞ。



現地説明会の様子。

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成17年12月

平成18年1月5日更新

平田遺跡(第9次)

弓削一丁目

調査は終了しています。12月18日に現地説明会を行う予定でしたが、思わぬ積雪のため中止となりました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル805kb)からどうぞ。



現場は雪景色

平田遺跡(第10次)

平田本町一丁目

昨年第1次調査を行なった宅地分譲地内での個人住宅建築に伴う調査です。掘立柱建物2棟、竪穴住居1棟が見つかっています。



掘立柱建物と竪穴住居の壁溝



作業風景

伊勢国分寺跡(第31次)

国分町字堂跡

調査は終了しています。現地説明会は1月15日(日)に実施します。



ラジコンヘリでの撮影も終わりました



新しいタイプの刻印瓦も出ました

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成17年度11月

12月5日更新

平田遺跡（第9次）

弓削一丁目

今回の調査現場は鈴鹿市上水道平田送水所の南東にあたります。宅地造成に伴う発掘調査です。南側の調査区はすでに調査が終わり埋め戻しました。現在、北側の調査区で遺構の掘削作業を行なっています。古墳～平安時代の竪穴住居・掘立柱建物・土坑と中世の掘立柱建物・土坑・井戸・溝などが見つかっています。12月18日(日)に現地説明会を行う予定です。



南区の作業風景



北区の掘立柱建物

伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）第20次

広瀬町字丸内，西野

調査は終了しています。

字丸内のA地点では、今年の第19次調査ほかで確認されている、方角地割の北端とみられる溝を調査しました。今回は19次調査区の西側で、南北の区画施設と東西の区画施設がちょうど交差すると推定される地点を調査区としました。調査の結果として北端の東西溝と南から伸びる南北溝が「T」字状に交わっていることが確認されました。地割の復原では幅12mの街路を想定する説がありますが、南北溝の東側12mの地点ではそれに対応するもう1条の南北溝は見つかりませんでした。

字西野のB地点では、推定方角地割東端にあたる地点を調査区としました。予想どおり直線的な南北溝が確認されました。ただし、今回の調査区は地割の交点ではないので、地割がこの線までなのかさらに東に広がるのかは今後の課題です。



A調査区全景（西から）



B調査区全景（東から）

伊勢国分寺跡

国分町字堂跡

伽藍地南東部で新たに見つかった築地塀を追って調査区を拡張したところ、どうやら東西45m、南北30mという小規模な院（区画）を成していることが確認されました。東西の築地塀の中央にあたる部分では側溝が途絶えていて、ちょうどそこに二基の掘立柱が東西に並んでいました。この院に伴う門と見られます。塔院とするには長方形は変ですし、いったいどんな性格の建物が建てられていたのか？また謎が増えました。現地説明会は1月15日(日)に実施の予定です。



築地の痕跡



門の跡

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成17年度9月

10月5日更新

白子深田遺跡

白子町深田

秋は来年度の大規模開発に向けて試掘調査が盛んになるシーズンです。白子深田遺跡は白江土地区画整理事業に伴うものですが、残念ながら今のところ良好な遺構・遺物は発見されていません。

この他、国分町境谷遺跡でも大規模な試掘調査が始まりました。



作業風景

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成17年度8月

9月5日更新

奥山田古墳

御園字琴谷

調査は終了しました。鈴鹿市史には径8m×高さ1mの円墳とあります。現状は西及び南側の裾が削られて、まさに古墳らしく見えていました。しかし、高まりの上に十文字にトレンチを入れたところ、薄い表土の下は風化した泥岩の基盤層がすぐに現れ、主体部等の落ち込みは全く見られませんでした。よって、残念ながらこの高まりは自然地形で、その形状から塚として認識されていたものと判断しました。



調査前の様子



作業風景

伊勢国分寺跡

国分町字堂跡

寺域内の南東院と呼んでいる部分を面的に広げて調査しています。なぜか、また東西方向に延びる築地塀の痕跡と見られる2条の平行する溝が検出されました。塔院の築地であることを期待してしまいましたが、一帯は過去の耕作によってかなり削平されていて残りが悪いので、指導員の先生の意見を伺いながら慎重に作業を進めていく予定です。



表土除去するとすぐ遺構面です。

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成17年度7月

8月5日更新

白鳥塚古墳

石薬師町字北松塚

調査は終了しました。調査の結果、全長80m、後円部径64m、高さ9m、前方部幅27m、長さ15.5mの帆立貝式古墳であることが判明しました。築造年代にも諸説ありましたが、出土した埴輪類から5世紀前半と確定しました。7月30日には現地説明会を開催し、170名の方にご参加いただきました。現地説明会の資料はこちら(PDFファイル1,924kb)からどうぞ。



現地説明会の様子

伊勢国分寺跡

国分町字堂跡

史跡等保存修理に伴う伽藍配置確認のための調査です。今年度は引き続き塔跡の有無を確認するため、国分寺伽藍地の南東院の中心部を面的に調査することにしました。



博物館から見た調査区

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成17年度6月

7月5日更新

長法寺遺跡（2次）

長法寺町字権現

空中写真撮影と測量を済ませて調査はほぼ終了しました。7月2日には現地説明会を開催し、ルーエハイムの利用者の方も含めて45名の方にご参加いただきました。現地説明会の資料はこちら(PDFファイル1173kb)からどうぞ。



周溝墓2基(四隅に人が立っています)



現地説明会の様子

平田遺跡(8次)

平田本町一丁目

個人住宅建築に伴う3箇所の調査を行ないました。調査は既に終了しています。北側の調査区では、1次調査区に続く掘立柱建物SB16の柱列が見つかり、3×5間の規模と分かりました。柱穴は1mほどもある方形でした。他にも古墳時代の土器をたくさん含んだ土坑などが検出されました。縄文時代の打製石斧も2点出土しています。

南西の調査区では幾つかの土坑とピットが検出されましたが建物としてのまとまりは確認できませんでしたが、中世の土坑からは墨書土器が出土しています。

南東側の調査区では中世の溝が検出されました。1次調査のSB29の西を区画する溝SD19,SD15の延長の可能性がります。



北側の調査区



白鳥塚1号墳

石薬師町・加佐登町

南西側のトレンチでも葺石の裾石が見事に残っていました。現在は、基底部の状況等を確認するためトレンチの拡張を行なっています。調査はもう少しで終了します。7月末頃に現地説明会を開催する予定で、決まり次第お知らせします。



葺き石の裾石



作業風景

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成17年度5月

6月5日更新

長法寺遺跡（2次）

長法寺町字権現

第1次調査で見つかった方形周溝墓2基の続きのほか、新たに2基方形周溝墓が見つかりました。遺構の掘削が進み弥生時代中期後葉の土器や石器が見つかりました。調査は6月いっぱい終了する予定です。



検出された周溝墓



周溝からの土器の出土

白鳥塚1号墳

石薬師町

墳丘上段の葺き石の状態がかなりはっきりしてきました。出土した円筒埴輪のすかし穴は三角または半円形で古そうな感じです。



葺き石の検出状況



埴輪の出土

南山遺跡（2次）

河田町

すずのね作業所の改築に伴う調査です。建物建設部分は試掘を行い遺構等が無いことを確認したのですが、進入路の付け替えのための掘削作業中に遺構が見つかり急遽調査となりました。遺構は東西方向に走る環濠と思われる断面逆台形の溝と、竪穴住居が3棟

ほど重なり合って検出されました。出土した土器から弥生時代後期のものと見られます。



溝



竪穴住居群

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

平成17年度4月

5月10日更新

平田遺跡（6次）

平田本町一丁目

個人住宅建築に伴う調査です。調査地は大形掘立柱建物が見つかった地点のすぐ西側です。東から続いていた中世の大溝が調査区内で南に90°曲っていることが確認できました。

その他、多数のピットや平安時代末ぐらいの土坑が見つっています。大形掘立柱建物の脇殿にあたる建物は残念ながら見つかりませんでした。



調査区全景

平田遺跡（7次）

平田本町一丁目

個人住宅建築に伴う調査です。調査地は1次調査で確認された方形に堀を巡らせた中世の館の一部にあたります。時期不明の竪穴住居1棟のほか、古墳の周溝らしきカーブした溝、中世の掘立柱建物に伴うと思われる柱穴と堀の一部が見つかりました。



調査区全景

長法寺遺跡（2次）

長法寺町字権現

特別養護老人ホーム増築に伴う発掘調査です。平成9年に行なった隣接地の調査では、弥生時代中期頃の方形周溝墓群が見つっています。

まだ表土除去が終わった段階ですが、方形周溝墓とみられる溝状の落ち込みがぼんやりと現れています。調査は6月末～7月上旬ごろまで行う予定です。



遺跡から西側の谷を望む

白鳥塚1号墳

石薬師町

古墳の規模確認のためのトレンチ調査です。墳丘の東側3カ所にトレンチを入れて、古墳基底のラインを確認しているところです。



トレンチ

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)